



伊藤まさひろ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

12月県議会一般質問

外来植物駆除の取り組みを質問する伊藤昌弘県議



伊藤議員 印旛沼一帯は「県立自然公園」に指定されている風光明媚な場所だが、今、印旛沼を取り巻く環境は、人口の増加や生活様式の変化に伴い、自然のバランスが崩れている。水辺に目を転じると、特定外来生物であるナガエツルノゲイトウが繁茂し、カミツキガメが生息する大変残念な環境にある。印旛沼固有の生態系への影響に加え、水質の悪化や、農業への影響なども懸念されるため、私は以前から何度も質問し、対策の強化を訴えてきた。

伊藤議員 印旛沼一帯は「県立自然公園」に指定されている風光明媚な場所だが、今、印旛沼を取り巻く環境は、人口の増加や生活様式の変化に伴い、自然のバランスが崩れている。水辺に目を転じると、特定外来生物であるナガエツルノゲイトウが繁茂し、カミツキガメが生息する大変残念な環境にある。印旛沼固有の生態系への影響に加え、水質の悪化や、農業への影響なども懸念されるため、私は以前から何度も質問し、対策の強化を訴えてきた。

ナガエツルノゲイトウ繁茂 印旛沼 集中駆除が必要

定外来生物であるナガエツルノゲイトウが繁茂し、カミツキガメが生息する大変残念な環境にある。印旛沼固有の生態系への影響に加え、水質の悪化や、農業への影響なども懸念されるため、私は以前から何度も質問し、対策の強化を訴えてきた。

伊藤議員 印旛沼一帯は「県立自然公園」に指定されている風光明媚な場所だが、今、印旛沼を取り巻く環境は、人口の増加や生活様式の変化に伴い、自然のバランスが崩れている。水辺に目を転じると、特定外来生物であるナガエツルノゲイトウが繁茂し、カミツキガメが生息する大変残念な環境にある。印旛沼固有の生態系への影響に加え、水質の悪化や、農業への影響なども懸念されるため、私は以前から何度も質問し、対策の強化を訴えてきた。

伊藤県議 印旛沼の水質浄化のためにも、家庭から流入する汚濁量を削減することが重要であり、浄化槽の果たす役割は大変大きい。浄化槽の使用者には、法定検査を受けることが義務付けられているが、浄化機能が適切に発揮されているかを確認する7条検査では、令和4年度の受検率が79%で全国ワースト3位、年一回の受検が義務付けられている11条検査では受検率が14.2%で全国ワースト2位と、受検率が非常に低い状況。法定検査について県民に認識してもらうことが大切であり、受検率向上の取り組みが必要と考える。

伊藤議員 印旛沼の水質浄化のためにも、家庭から流入する汚濁量を削減することが重要であり、浄化槽の果たす役割は大変大きい。浄化槽の使用者には、法定検査を受けることが義務付けられているが、浄化機能が適切に発揮されているかを確認する7条検査では、令和4年度の受検率が79%で全国ワースト3位、年一回の受検が義務付けられている11条検査では受検率が14.2%で全国ワースト2位と、受検率が非常に低い状況。法定検査について県民に認識してもらうことが大切であり、受検率向上の取り組みが必要と考える。

伊藤議員 印旛沼の水質浄化のためにも、家庭から流入する汚濁量を削減することが重要であり、浄化槽の果たす役割は大変大きい。浄化槽の使用者には、法定検査を受けることが義務付けられているが、浄化機能が適切に発揮されているかを確認する7条検査では、令和4年度の受検率が79%で全国ワースト3位、年一回の受検が義務付けられている11条検査では受検率が14.2%で全国ワースト2位と、受検率が非常に低い状況。法定検査について県民に認識してもらうことが大切であり、受検率向上の取り組みが必要と考える。

伊藤議員 印旛沼の水質浄化のためにも、家庭から流入する汚濁量を削減することが重要であり、浄化槽の果たす役割は大変大きい。浄化槽の使用者には、法定検査を受けることが義務付けられているが、浄化機能が適切に発揮されているかを確認する7条検査では、令和4年度の受検率が79%で全国ワースト3位、年一回の受検が義務付けられている11条検査では受検率が14.2%で全国ワースト2位と、受検率が非常に低い状況。法定検査について県民に認識してもらうことが大切であり、受検率向上の取り組みが必要と考える。

伊藤まさひろ・PROFILE

略歴

- ◆昭和30年 佐倉市に生まれる
- ◆昭和53年 日本大学法学部卒業
- ◆平成7年 佐倉市議会議員当選
- ◆平成11年 佐倉市議会議員再選
- ◆平成19年 千葉県議会議員当選
- ◆平成23年 千葉県議会議員再選
- ◆平成27年 千葉県議会議員3選
- ◆平成31年 千葉県議会議員4選
- ◆令和5年 千葉県議会議員5選

現職

- ◆農林水産常任委員会委員
- ◆日大習志野高校同窓会 会長
- ◆佐倉リトルシニア野球協会 会長

●県政や佐倉市・酒々井町のまちづくりに関する悩みごと、気軽にご相談ください!!

伊藤まさひろ 県議事務所

〒285-0811 佐倉市表町3-6-28
TEL.043-485-8019
FAX.043-486-1616

伊藤まさひろ県議会レポート

気候変動に負けない 県産米の生産振興を

伊藤議員 県産米には主力の「コシヒカリ」を筆頭に、本県で育成された品種である「ふさおとめ」「ふさこがね」「粒すけ」があるが、今後、他県産米との差別化を図り、本県産米の存在感をさらに高めていくためには、大粒で食味がよい「粒すけ」や、高温に強い「ふさおとめ」といった県育成品種の役割りはより一層高くなっていくと考えている。

生産の現場に目を向けると、近年は夏の高温や台風被害など、気候変動の影響が大きく、高品質な県産米を安定的に供給して

国上位の米の生産県として、日本の食料安定供給の一翼を担う重要な産地となつていますが、近年、夏の高温な

米産地のブランドを維持しつつ、高温下でも良食味や収量性に優れた品種の導入・普及、費用対効果や刈取り時期を踏まえた品種構成など

を考慮し、生産振興を図っていくことが重要だと考えています。

今後は、産地や卸売業者等の関係者の意向も聞きながら、令和7年度に策定を予定している「千葉県農林水産業振興計画」に反映し、県産米の生産振興に取り組んでまいります。

現在も、JR東日本とともに、武芸や修行贖発酵文化、伝統工芸品の製作などが体験できる、現地発着のバスツアーを実施しており、引き続き、地元市や企業等と連携し、地域活性化などにつながる取り組みを推進してまいります。



県執行部の答弁に対して再質問する伊藤県議員

伊藤議員 県産米には主力の「コシヒカリ」を筆頭に、本県で育成された品種である「ふさおとめ」「ふさこがね」「粒すけ」があるが、今後、他県産米との差別化を図り、本県産米の存在感をさらに高めていくためには、大粒で食味がよい「粒すけ」や、高温に強い「ふさおとめ」といった県育成品種の役割りはより一層高くなっていくと考えている。

生産の現場に目を向けると、近年は夏の高温や台風被害など、気候変動の影響が大きく、高品質な県産米を安定的に供給して

国上位の米の生産県として、日本の食料安定供給の一翼を担う重要な産地となつていますが、近年、夏の高温な

米産地のブランドを維持しつつ、高温下でも良食味や収量性に優れた品種の導入・普及、費用対効果や刈取り時期を踏まえた品種構成など

を考慮し、生産振興を図っていくことが重要だと考えています。

今後は、産地や卸売業者等の関係者の意向も聞きながら、令和7年度に策定を予定している「千葉県農林水産業振興計画」に反映し、県産米の生産振興に取り組んでまいります。

現在も、JR東日本とともに、武芸や修行贖発酵文化、伝統工芸品の製作などが体験できる、現地発着のバスツアーを実施しており、引き続き、地元市や企業等と連携し、地域活性化などにつながる取り組みを推進してまいります。

日本遺産「北総四都市江戸紀行」 地域振興に活用を

伊藤議員 倉田市、香取市、銚子市とともに「北総四都市江戸紀行」を感じる北総の町並み一帯が平成28年4月に千葉県初の「日本遺産」に認定された。その周知のためには、構成4市が結束し、それぞれの市にある魅力的な文化財などの地域資源を、観光振興や地域振興に活用していくべきと思う。

そこで、倉田市、香取市、銚子市とともに、地域の歴史や文化について周知を図る

伊藤議員 酒々井インターチェンジ周辺の更なる企業誘致を進めるため、受け皿となる産業用地の創出について、県は町に対してどのような支援を行っているのか。

酒々井インターチェンジ周辺は、都心へのアクセスも良く、成田空港にも近いことから、産業用地、なかでも成長性の高い製造業や研究施設の立地にポテンシャルの高い地域と考えております。

そこで、県では、町とともに新たな産業用地整備の可能性についてこれまで意見交換を重ねてきたところであり、今後は、事業可能性調査や公共インフラ整備への補助などの支援について検討してまいります。

酒々井IC周辺への企業誘致 県、産業用地整備を支援

着々と道路整備

田町バイパス整備

伊藤議員 県道佐倉印西線田町バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 当該路線の田町バイパスは、線形不良の解消と交通混雑の緩和を図るため、佐倉市田町地先から岩名地先までの1.5キロメートルで、鹿島川の河道拡幅、鉄道橋の架け換え

等と連携しながら、現道拡幅やバイパス整備を進める事業です。

鉄道と交差する区間については、昨年6月、道路が鉄道の土を立体交差することで、鉄道事業者と合意し、その後、事業者により測量や概略設計等が行われ、架け換え後の鉄道橋を含む軌道位置が示されたところとです。

古沢橋の歩道整備

伊藤議員 県道富里酒々井線「古沢橋」の歩道整備に向けた取り組み状況はどうか。

県土整備部長 酒々井町墨地先では、狭隘箇所を解消し、円滑な交通と歩行者の安全を確保するため、1.7キロメートルの現道拡幅を進めており、これまでに、古沢橋から国道296号側1.0キロメートルが完了しています。

墨入口交差点改良

伊藤議員 国道296号「墨入口交差点」の渋滞対策として、交差点改良が必要と考えるがどうか。

県土整備部長 県では、当該交差点を含む周辺の交通状況を把握するため、昨年度に交通量調査を行い、特に平日の朝の時間帯に交差点の北側から右折する車が、南側から直進してくる車の影響で渋滞している状況を確認したところです。

引き続き、調査結果を踏まえ、酒々井町と連携しながら、交通の円滑化に向け、右折レーンの設置を含めた交差点改良について検討してまいります。

伊藤議員 「粒すけ」の特A獲得に向けた県の取り組みはどうか。

今後、栽培技術と食味評価の関係を解析し、その栽培技術のポイントを普及する

伊藤議員 「粒すけ」の特A獲得に向けた県の取り組みはどうか。

農林水産部長 農林総合研究センターでは、令和4年度から8年度の研究課題として、県内4か所で設置した試験ほ場を活用し、良食味の生産技術の確立に向けて取り組んでまいります。

本県開発米「粒すけ」 待たれる特A獲得

伊藤議員 「粒すけ」が早期に特Aを獲得できるよう、強く要望する。また、近年は温暖化の進行により、高温に強い品種が求められる。県においては、高温に強く、更に食味の良い品種の育成を要望する。